Engineer

hreflang

ページとその翻訳を対応付ける属性

どのようなものか

リンクに書く `hreflang` は、リンク先のページが何語かを示します。HTMLでは、`a` 、 `area` 、 `link` 要素に付けられますが、広く知られるようになった使い方は、ページのhead内に、各言語版につき一つ置く `link rel="alternate"` 要素の組です。これにより、サイトは検索エンジンへ、複数のアドレスに、同じ内容が別々の言語で置かれていると伝えます。

```
<link rel="alternate" hreflang="en" href="https://example.com/guide/" />
<link rel="alternate" hreflang="da" href="https://example.com/da/guide/" />
<link rel="alternate" hreflang="x-default" href="https://example.com/guide/" />
```

HTML標準は、この属性を「純粋に参考情報を示すもの」と呼びます。値は「有効なBCP 47言語タグでなければならない」とされ、ブラウザーは、取得したページの言語を、そこへ導いたリンクではなく、必ずページ自体から判断します。`rel="alternate"` と組み合わせ、文書自身と違う言語の `hreflang` を付けると、リンク先が翻訳であることを示します。

検索エンジンは、その参考情報をプロトコルへ発展させました。Googleは、組を渡す三つの同等な方法を説明します。head内のlink要素、それを持たないPDFなどのファイル用のHTTP `Link` ヘッダー、XMLサイトマップ内の項目です。各版は、完全修飾アドレスで、自分自身と、ほかのすべての版を列挙します。他サイトが勝手に、自分のページをこちらの翻訳と宣言できないよう、両ページが相互に挙げている場合だけ、一組として扱います。コードはISO 639-1の言語で、必要ならISO 3166-1の地域を続け、地域だけでは無効です。予約値 `x-default` は、ほかのどの言語にも一致しない読者向けのページを示し、Googleは、言語選択ページ用に設計したと記します。

近くにあって、混同しやすいものが二つあります。`lang` 属性は、目の前の文章が何語か、`hreflang` は、リンク先が何語かを示します。Googleは、ページの言語を検出するためには、どちらも使わないと説明します。そのため、`hreflang` を付けてもページがデンマーク語になるわけではありません。すでにデンマーク語と認識されたページが、英語版と一組だと伝えます。また、正規URLは、重複を一つの索引対象アドレスへ統合しますが、`hreflang` は、言語別の代替ページを示し、検索エンジンが表示する版を選ぶ手助けをします。

概念を判断に生かす

「hreflangとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 日付、通貨、名前の並び順まで含め、販売先のそれぞれの市場で自然に読めるソフトウェアにします。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 英語・デンマーク語のi18nシステムを構築 — 12,027 英語・デンマーク語の言語ごとのメッセージ

英語・デンマーク語のi18nシステムを構築 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

`hreflang` が記録する判断は、各言語版を一つのまとまりにするか、独立したページとして評価させるかです。独立させれば、各版がそれぞれの内容で競い、検索エンジンが、デンマーク語の読者へ英語版を出したり、両方を同じ検索結果へ並べたりする場合があります。一つのまとまりと宣言すれば、同じコンテンツの各版と理解され、読者の言語設定に合う版を提供できます。

まとまりに意味があるのは、本当に同じ内容の場合だけです。一言語だけのサイトには、`hreflang` は一切不要で、内容そのものが異なる二つの言語セクションも、一つのまとまりではありません。価格が異なる `en-GB` と `en-US` のページなど、小さな違いのある地域版も、一組になります。

必要な管理作業は、言語数の二乗に比例して増えます。すべてのページの各版に完全な一覧を載せるため、一つの翻訳を追加、移動、取り下げると、対応するすべての版のheadが変わります。大半が正しく、一部だけ間違う一覧は、黙って失敗します。相互に参照する組だけが使われ、残りは、目に見えるエラーなく捨てられます。そのため、`hreflang` は手編集には向かず、一つの一覧から各ページの組を導く生成ツールに向きます。`hreflang` が変えるのは、複数の版のうち、検索する人にどれを表示するかです。

実際の活用例

このサイトは、一つのコンテンツツリーから各言語版を構築するため、各ページには、対応する翻訳の組を宣言する必要があります。

一つのテンプレートが、どの翻訳を告知するかを決め、複数の場所がそれを読みます。head内の `hreflang` の組、リンクプレビュー用の `og:locale:alternate` タグ、サイトマップの代替版、サイトの構造化データの `inLanguage` 、さらに一段階除外した後の、読者向けの言語切り替え欄です。一覧にはページ自身も含み、規則の求める自己参照を満たします。コードは、 `en` 、 `da` 、 `uk` など、言語だけを指すため、各版を、その言語を読む人へ、居場所を問わず提供します。英語の項目は、 `x-default` としてもう一度出します。headとサイトマップは、同じ一つの一覧から描画する組を両方とも載せるため、食い違いません。

機械向けと読者向けを分けるのは、意図的です。以前の実装段階では、ウクライナ語版をクローラーへ知らせ、サイトマップにも掲載していましたが、上部バーの言語切り替え欄からは外していました。一つの設定フラグでこの区別を制御し、クローラーへはウクライナ語版との相互参照を送り、読者向けの言語切り替え欄だけを変えていました。構築済みでも準備の整っていない言語用の、二つ目のフラグは、両方の一覧から除外し、ページを `noindex` にします。その言語のページは、ほかの版も宣言しません。告知していないページから告知したページへの `hreflang` は、検索エンジンから見ると、片側しかない組だからです。

複製にも、同じ考え方を適用します。用途別サブドメインで提供し、正規URLが本サイトを指すページは、 `hreflang` を一切出しません。その組は、検索エンジンが正規と認めたページで読まれ、複製が自身のホストの翻訳を挙げれば、その直前の正規URLと矛盾するためです。言語切り替えは動き続けます。デンマーク語を求める読者には、引き続きデンマーク語を提供するべきだからです。

ビルド後のページを検査し、代替版のある各ページが `x-default` と自分の言語を含み、各代替版が、構築済みで、告知する言語に属し、参照を返すことを確認します。自己参照の規則には、実績があります。生成ツールには、現在のページを除く `.Translations` と、含める `.AllTranslations` という、似た名前の一覧があります。一語の取り違えで、headと切り替え欄の両方から自分の言語が消え、両者は一致したままになります。意図的に壊したビルドでは、792ページ中528ページの問題を、検査項目の中では、この一つの条件だけが検出しました。

問題が起きるところ

検索する人へ、違う言語の版が表示されます。 デンマーク語の読者が英語版へ送られたり、両版が並んだりします。参照が片方向です。デンマーク語版が英語版を挙げても、英語版は、以前からあった言語しか挙げず、検索エンジンは、戻りの参照がない組を無視します。自分自身を含む一つの一覧から、各ページの組を構築し、ビルド結果で相互参照を検査します。

ある言語の注記が、丸ごと効きません。 マークアップが存在し、妥当なHTMLでも、各版が無関係と扱われます。コードが違うものを指しています。`ua` や `dk` を、言語コード `uk` や `da` のつもりで使う、ベラルーシ語のコード `be` をベルギーのつもりで使う、`en-UK` を `en-GB` のつもりで使う、といった例です。最後の `UK` は、Googleが無視する予約地域コードです。ISO 639-1の言語を使い、国ごとに内容が異なる場合だけISO 3166-1の地域を付け、有効なBCP 47タグでも、Googleが対応しない場合があると覚えておきます。

翻訳が索引から消えます。 検索には原語だけが出て、翻訳は重複と扱われます。各翻訳の正規URLが原語版を指し、その翻訳を統合して索引から除くよう求める一方、`hreflang` は表示を求めています。各言語版を、自分自身の正規版とします。Googleの指針は、正規版を同じ言語のページにすることです。

検索から外すよう求めたページを、なお告知します。 `noindex` を付けた下書き扱いの言語版が、公開ページの代替版に現れるか、自分のheadから公開版を列挙します。告知と指示を別の場所で設定したため、同じアドレスについて、クローラーへ二つの答えを渡しています。言語ごとに、双方向に告知するか、どちらにも告知しないかを決め、各一覧が読む一つの設定へまとめ、それに対してビルド後のページを検査します。

参考資料

- HTML標準：hreflang属性 — リンク上での属性の意味と、ブラウザーが信用してはいけない理由です。
- HTML標準：リンク種別「alternate」 — `hreflang` と `type` で、翻訳や、同じ文書の別形式を表す方法です。
- RFC 5646：言語を識別するタグ — 属性値が従う必要のあるBCP 47構文です。
- Google検索セントラル：ページの各言語版 — 三つの提供方法、相互参照の規則、`x-default` です。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「hreflangとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/hreflang/